

# バッハ・コレギウム・ジャパン

Bach Collegium Japan

指揮:鈴木雅明

Conductor: Masaaki Suzuki

ソプラノ:松井亜希、安川みく

Soprano: Aki Matsui, Miku Yasukawa

アルト:アレクサンダー・チャンス

Alto: Alexander Chance

テノール:櫻田 亮

Tenor: Makoto Sakurada

バス:ティモシー・エドリン

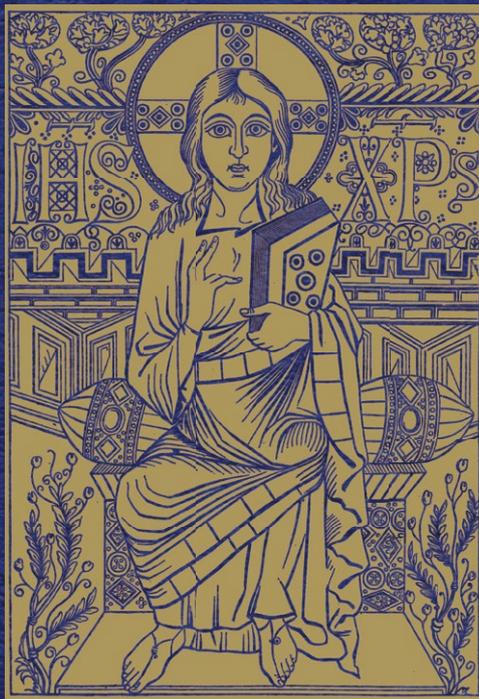
Bass: Timothy Edlin

合唱&管弦楽:

バッハ・コレギウム・ジャパン

Chorus & Orchestra:

Bach Collegium Japan



世界のBCJで聴く、  
バッハ究極の祈りの音楽

## J.S. バッハ 《ミサ曲 口短調》

Johann Sebastian Bach: Mass in B minor, BWV 232



©Marco Borggreve

2026.7.20(月祝)

16:00開演(15:20開場)

20th July 2026, 4:00p.m.(Doors open: 3:20p.m.)

チケット(税込)

正面席 9,000円 バルコニー席\*8,000円 U-25\*\*/バルコニー席)3,000円

メンバーズ正面席 8,500円

\*バルコニー席は一部ステージが見づらいお席です。予めご了承ください。

\*\*U-25は公演当日25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

©一般発売 2026年3月7日(土) メンバーズ優先発売 2月28日(土)

〈関連レクチャー開催〉

バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督 鈴木雅明による作品解説レクチャー

2026年7月4日(土)15:00開講 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール(事前申込み制 先着順)

お問合せ 彩の国さいたま芸術劇場 0570-064-939(休館日を除く10:00-18:00)

主催:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 X @Music\_SAF f saitamartstheater 彩の国さいたま芸術劇場

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

Saitama Arts Theater, Concert Hall

(JR「与野本町」駅より徒歩7分)

チケット取り扱い

[電話] SAFチケットセンター 0570-064-939

(彩の国さいたま芸術劇場 休館日を除く10:00-18:00) ※一部IP電話からはご利用いただけません。

[窓口] 彩の国さいたま芸術劇場(休館日を除く10:00-18:00) 埼玉会館(休館日を除く10:00-18:00)

[WEB]

SAFオンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/>

[プレイガイド]

イープラス <https://eplus.jp>

※営利目的での転売を禁止します。※プレイガイドではメンバーズ席のお取扱いはございません。



# バッハ・コレギウム・ジャパン J.S.バッハ《ミサ曲 口短調》BWV 232

バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ) による、毎年恒例の彩の国さいたま芸術劇場公演。2026年は彩の国では10年ぶりとなる大作《ミサ曲 口短調》をお届けします。J.S.バッハが死の前年に完成させた最後の大規模宗教作品で、声楽・管弦楽の多彩な書法が尽くされ、深い祈りと祝祭が交錯する、バッハ芸術の到達点ともいわれる傑作です。バッハゆかりの地 ドイツのライブツィヒで開催されるバッハ音楽

祭では例年最終日にこの作品が演奏されますが、BCJは2023年にアジア圏の団体として初めてこれを担い、喝采を浴びました。このたび長年慣れ親しんだ彩の国での演奏にも期待が高まります。時代を超えて聴き手の魂を揺さぶる音楽史上の金字塔を、604席の親密な空間で味わう特別な機会。彩の国公演恒例となったBCJ音楽監督 鈴木雅明による作品解説レクチャーとともに楽しみください。

## 〈関連レクチャーのご案内〉

### BCJ音楽監督 鈴木雅明による作品解説レクチャー

7月4日(土) 15:00開講 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

参加費:1,000円 ※7/20公演のチケットをお持ちの方は無料

3/7(土) 10:00より受付開始。

お申込みはQRコードよりお申込みフォームにお進みください。

※複数名でご来場される場合には、人数分のお申込みが必要です。

※定員(150名)に達した場合には、お申し込み受付を締め切ります。



お問合せ:彩の国さいたま芸術劇場 音楽担当 048-858-5500



## 鈴木雅明 (指揮) Masaaki Suzuki, conductor

1990年(バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ))を創設。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場しており、雄弁かつ透明なサウンド、本質に迫る演奏アプローチで、極めて高い評価を積み重ねている。録音も多く、J.S.バッハのカンタータ全曲および受難曲やミサ曲など全ての声楽曲のCD録音を達成した。また独奏では、J.S.バッハのチェンバロ作品全曲を録音し、現在は『J.S.バッハ:オルガン作品全曲』が進行中である。近年は国内外のシンフォニー・オーケストラとも活発に共演し、多彩なレパートリーを披露。2001年ドイツ連邦共和国功勳章功勞十字小綬章、2012年バッハの演奏に貢献した世界的音楽家に贈られる「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。13年度第45回サントリー音楽賞をBCJと共に受賞。2015年ドイツ・マインツ大学よりゲーテンベルク教育賞、2021年Royal College of OrganistsよりRCOメダルを受賞。イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭大学客員教授、東京藝術大学名誉教授、オランダ改革派神学大学及びジュリアード音楽院より名誉博士号授与。

## バッハ・コレギウム・ジャパン (合唱&管弦楽) Bach Collegium Japan, chorus & orchestra



1990年鈴木雅明により創設。音楽監督に鈴木雅明、首席指揮者に鈴木優人を擁する。世界各国から集まる古楽のスペシャリストとともに、オリジナル楽器を用いてバッハを中心とした音楽遺産の理想的上演を目指し演奏活動を行う。多数のCD録音が高い評価を受けるほか、BBCプロムスやカーネギーホールなど世界中で活発な演奏活動を展開。2022年秋の9都市を巡る欧州公演、23年6月のライブツィヒ・バッハ音楽祭フィナーレへの招聘、24年8月BBCプロムスへの招待等、日本のみならず世界の音楽シーンを牽引している。18年の年月をかけて完成した『バッハ:教会カンタータ全曲シリーズ』は、世界的にも貴重な成果として注目を浴びた。2020年上演のヘンデル《リナルド》公演が第19回佐川吉男音楽賞を受賞。25年1月、鈴木優人指揮による欧州公演も各地で満場の聴衆を迎えられ、高い評価を得た。

公助埼玉県芸術文化振興財団 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1  
TEL.048-858-5500 (代) FAX.048-858-5515



彩の国さいたま芸術劇場 0570-064-939

埼玉会館 048-829-2471

公式ホームページ <https://www.saf.or.jp>

チケットセンター 0570-064-939

### SAFメンバーズ入会受付中

メンバーズには素敵な特典がいっぱい!

■メンバーズ料金(財団指定公演のチケットの割引)

■メンバーズ先行予約(一般発売よりも先に人気公演のチケット発売)

■公演情報満載の財団情報誌「埼玉アーツ通信」をお届けします。

お問合せ:SAFメンバーズ事務局 TEL.048-858-5507

ご入会はこちら



## 松井亜希 (ソプラノ) Aki Matsui, soprano

岩手県出身。東京藝術大学大学院博士課程修了、博士号取得。日仏声楽コンクール、日本ドイツ歌曲コンクール優勝。在学中よりBCJの主要メンバーとして国内外の公演や録音に多数参加。2020年ケルンでの《ヨハネ受難曲》全世界配信や2022年欧州ツアーでの《ミサ曲 口短調》でのソリスト歌唱は絶賛を博した。NHK交響楽団をはじめ主要楽団との共演も多く、バロックから現代まで時代を自由に横断するレパートリーを持つ。透明感溢れる歌声と緻密な楽曲理解に基づく知的な歌唱が広く支持されている。東京オペラシティ文化財団主催リサイタルシリーズ「B→C」、東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、調布国際音楽祭、NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等出演。

©Nanashi Merchant



## 安川みく (ソプラノ) Miku Yasukawa, soprano

徳島県出身。国立音楽大学、東京藝術大学大学院を経て、英国ギルドホール音楽院アーティストディプロマ課程で学ぶ。Gold Medal 2023ファイナルスト(バービカンセンター)。オペラではHull Court Opera《ドン・パスクワレ》リリーナ役で英国デビュー。同年に刊行されたOpera Nowでは五つ星で評価された。2019年より拠点を英国と日本とし、これまでにBCJ、東京交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル金沢等、国内のオーケストラの他、英国にてボーンマス交響楽団、バーミンガム市交響楽団(CBSO)、フランスにてパドルー管弦楽団、マカオではマカオ管弦楽団等と共演。Celestial Voiceで出演した山田和樹指揮、CBSO《ファウストの劫罰》はBBC3で放送され、The Telegraphにて五つ星評価を得た。よんでん文化振興財団、Sidney Perry Foundation奨学生。令和四年度文化庁新進芸術家海外研修員。

©Benjamin Falowaga



## アレクサンダー・チャンス (カウンターテナー) Alexander Chance, countertenor

1992年ロンドン生まれ。オックスフォード大学ニューカレッジに学ぶ。オペラおよびコンサートで確固たる評価を築いており、ルネサンスのリュート歌曲、バッハのオラトリオ、ヘンデルのオペラから、20世紀オペラ作品や新作委嘱作品に至るまで、幅広いレパートリーで精力的に活動している。ガーディアン、鈴木雅明、鈴木優人、ヤーコプス、ジョン・バット、リオネル・ムニエといった古楽界を代表する指揮者と共演しており、グラモフォン誌から「同世代で最も刺激的な英国人カウンターテナー」と評された。2022年には、国際ヘンデル声楽コンクールにおいてカウンターテナーとして史上初の優勝を果たす。デビューCD「Drop not mine eyes」は、グラモフォン誌「2023年ベスト・アルバム」に選出された。BCJとも日本、欧州ツアーで共演を重ねており、特に24年夏のBBCプロムスを含む欧州ツアーでは、各地で絶賛された。

©bhalulice



## 櫻田亮 (テノール) Makoto Sakurada, tenor

東京藝術大学大学院修了後、渡伊。イタリア各地でモンテヴェルディ作品出演の他、《オルフェオ》初演400年では世界的なヴィオラ・ダ・ガンバ奏者J.サヴァールらのグループとエジンバラ音楽祭等で共演。国内でもサヴァリッシュ指揮NHK交響楽団をはじめ数多くのオーケストラや古楽アンサンブルと共演。バロックから古典派をレパートリーに国際的に高い評価を得ており、BCJでは鈴木雅明氏の厚い信頼のもとたびたび《マイ受難曲》エヴァンゲリストを務めている。NHK「クラシック倶楽部」「ベストオブクラシック」出演。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞受賞。ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)。東京藝術大学教授。二期会会員。

©Peter Edlin



## ティモシー・エドリン (バス・バリトン) Timothy Edlin, bass-baritone

イギリス出身のバス・バリトン。カンタベリー大聖堂の聖歌隊員として音楽の手ほどきを受け、その後ロンドン英国王立音楽大学に学ぶ。オペラに精力的に取り組みドルトムント歌劇場、ヴッパータール歌劇場、プルーマー・ハーフェン市立劇場、ロンドン・ヘンデル・フェスティバル等に度々登場しており、2025-26シーズンにはアン・デア・ウィーン劇場でのデビュー公演が予定されている。コンサートおよびリサイタルの分野でも、ロンドン・ウィグモア・ホール、ポストン・シンフォニー・ホール、バルセロナ・カタルーニャ音楽堂、ケルン・フィルハーモニーなどにソリストとして出演。各地で高い評価を得ている。鈴木雅明とはバッハ・バレルセロナ音楽祭にて共演。BCJとは今回が初共演となる。

## ご案内

- ◆JR埼京線「与野本町」駅下車徒歩7分
- ◆JR京浜東北線「北浦和」駅よりバス10分
- ◆「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車
- ◆新大宮バypass「上峰交差点」より200m



- 開場は開演の40分前です。
- やむを得ぬ事情で公演内容の一部を変更することがございますので、ご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 0歳6か月以上の未就学児に対して託児のご予約を承ります(お子様1人に対して負担金2,000円)。公演一週間前までに(株)明日香 TEL.0120-165-115までお申し込みください(受付時間:土・日・祝を除く10:00~17:00。インターネットでのお申込みも可能。詳しくはHPへ)。定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

与野本町駅:JR埼京線 池袋駅から普通約29分、快速約25分、新宿駅から快速約30分